

ちゅらさん運動で 安全なまちづくり

県内の犯罪発生件数は年々増加傾向を示しています。その特徴は、窃盗犯が全体の八割を占めること、ほとんどが無施設による被害で、県民の防犯意識が十分でないこと、少年犯罪が増加し、低年齢化・悪質化していること、子どもを狙った犯罪が増加傾向にあることです。

沖縄県では、安全で安心して暮らせる社会を実現するため、「ちゅらうちなー安全なまちづくり条例」を制定し、今年四月一日施行されました。

「ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議」（会長・稲嶺知事）や、市町村長を会長とする「地区安全なまちづくり推進協議会」を設置し、いろいろな活動への取り組みを進めています。

毎月三日は「ちゅらさん運動の日」、三つのちゅらづくりから成る「ちゅらさん運動」を展開中です。

地域安全マップづくり

ちゅらさん運動の取り組みとして、子どもたちの目線で地域の危険箇所を点検する「地域安全マップ」を作製しました。

六月中旬、立正大学の小宮信夫助教と同大学の学生二十人が県内のモデル校十校を訪問し、マップづくりを指導。

小宮先生は「犯罪者が入りやすく、通行人から見えにくい場所が危険」と助言。

子どもたちはアドバイスに基づき、通学路を中心に犯罪が起きそうな場所や危険箇所を真剣な表情で点検していました。

その後、学校に戻って、写真を貼ったりコメントを加えてマップを作製しました。

地域安全マップは、県内全域の学校で作られる予定です。



通学路などを歩いて、危険箇所をチェック



地域安全マップづくりの注意点を小宮先生が指導

ちゅらひとづくり

青少年の健全育成や地域の防犯リーダーの育成

ちゅらさん運動とは？

ちゅらゆいづくり

地域の連帯とユイマールの再構築

ちゅらまちづくり

犯罪の起こりにくい道路、公園、共同住宅等の整備

地域安全マップの作製により期待される効果

- 犯罪被害の防止
- 地域への愛着感・親近感の達成
- 世代間のコミュニケーションによる地域の連帯感の再構築



ちゅらさん運動の輪を広げよう！

各地域においても、青少年に対する健全育成活動（エイサー等、郷土芸能の指導）や、住民パトロールをはじめ自治体や企業による車両巡回の実施等、安全なまちづくりを実現するための「ちゅらさん運動」の輪は、確実に広がっています。

一人ひとりが、地域の住民として、企業や団体の構成員として、それぞれの立場でできる活動に参加することが、ちゅらさん運動を県民総ぐるみの運動へと拡大させる大きな一歩となります。みんなで、ちゅらさん運動を広げましょう！

お問い合わせ

県生活企画・交通安全課

TEL.098-866-2204

県警察本部安全なまちづくり推進課

TEL.098-862-0110（代表）



開南小学校の地域安全マップ

地域安全マップ
完成!!



写真を貼り付けるなど地域安全マップを作製